

ラボの課題

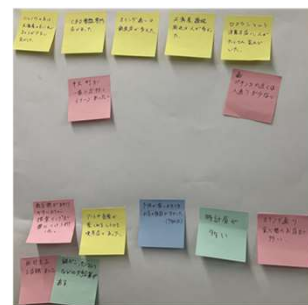
本ラボでは岡山市表町商店街が抱える課題を明らかにし、活性化に資する情報を獲得するため、データサイエンスに基づいた取り組みを行っています。本年度は12名の学生が表町商店街での調査に向けた準備を進めています。

春学期の活動報告

- **表町商店街の現地見学：**対象となる表町商店街の店舗や周辺環境の様子を、数回にわたって現地観察しました。先立って行っていた、表町や全国の他の商店街に関する情報収集の結果と照合しながら、現地で新たに気付いた事項を書き出し、資料にまとめました。また、表町商店街連盟の矢部先生から、商店街のご紹介と質疑応答の機会をいただきました。
- **調査計画(1)通行量と歩行環境の調査：**商店街の通行量を測定している岡山市の事例について、参考にすべく、測定方法の詳細を調べました。また、歩行者密度、歩行環境（歩きやすさ）などに関する先行研究の事例を調べ、自分達での路上調査で測定すべき事項の候補を洗い出しました。
- **調査計画(2)店主様調査、空き店舗調査、マンション住民の方を対象とした調査：**過年度からの店主様向けアンケート調査の継続方法について検討し、質問項目案を考えました。また、空き店舗の実地調査や、周囲の新規マンション建設状況や住民の方への調査など、表町商店街にとって必要と考えられるデータが何であるかを議論し、秋学期の調査に向けた立案を行いました。
- 以上に加えて、都合がついたメンバーは7月20日（土）の表町土曜夜市に参加し、ボランティア活動（桃の種飛ばし競争のイベントの補助）を行いました。



▲ SWOT分析の枠組みを用いて、表町商店街に関する情報を整理する作業風景



表町商店街の現地観察と
発見事項の記録

今後の計画・目標

- 春学期に収集した表町商店街の現地の情報と、岡山市や他大学の研究・調査事例を参考に、秋学期は調査計画を具体化し、進めていく予定です。通行量調査、店主様向け調査、マンション住民の方への調査などを分担して実施します。また、新規調査だけでなく、岡山市による通行量調査データの分析も行う予定です。
- 岡山市学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトとして、学外での発表活動も行います。今後、商店街連盟の皆様とも更なる協力をさせていただこうと考えています。



担当教員：横山 ひとみ
塚常 健太

ポスター制作：
(所属学生12名)

太田 晃樹、茶納 優真、天納 隆希、中山 浩貴、
丸口 綾太、横山 大輝、海野 裕風、小松原 哉汰、
瀬口 智哉、田中 想、星野 稜太、宮本 海惟